

第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)

中間見直し

令和3年3月 小城市

第2期保健事業実施計画(データヘルス計画) 中間見直し

第1章 保健事業実施計画(データヘルス計画)の概要	1
第2章 中間評価の趣旨	1
1. 中間評価の方法	
第3章 中間評価の結果	2
1. 中長期目標、短期目標(アウトカム、アウトプット)の進捗状況	
1) 医療費の状況	
2) 中長期目標	
3) 短期目標	
2. ストラクチャー、プロセス評価	
3. 主な個別事業の評価と課題	
1) 未受診者対策	
第4章 特定健診・特定保健指導の中間評価と課題	7
1. 目標値に対する進捗状況	
第5章 中間評価、新たな課題を踏まえた目標値の見直し	8

第1章 第2期保健事業実施計画データヘルス計画の概要

保健事業の実施等に関する指針（厚生労働省告示）（以下「国指針」という。）の一部を改正する等により、保険者等は健康・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画（データヘルス計画）（以下「計画」という。）を策定したうえで、保健事業の実施・評価・改善等を行うものとしている。

小城市においては、国指針に基づき、生活習慣病対策をはじめとする被保険者の健康増進を図ることにより、医療費の適正化及び保険者の財政基盤強化が図られることを目的に平成30年3月に、「第2期保健事業実施計画（データヘルス計画）」を策定した。

<計画期間>

第1期計画 平成27年度から平成29年度まで（3年間）

第2期計画 平成30年度から令和5年度まで（6年間）

第2章 中間評価の趣旨

第2期計画の最終年度の令和5年度は、次の期の計画の策定を円滑に行うための準備も考慮して評価を行う。計画の見直し、進捗確認のため令和2年度に中間評価を行う。

1. 中間評価の方法

健診・医療情報を活用してPDCAサイクルに沿った効果的かつ効率的な保健事業の実施を図ることが求められており、保険者努力支援制度においても4つの指標での評価が求められている。具体的な評価方法は、国保データベース（KDB）システムで、受診率・受療率、医療の動向等を国・県・同規模市平均と比較して毎年評価する。

また、特定健診の国への実績報告後のデータを用いて、経年比較を行うとともに、個々の健診結果の改善度を評価する。特に直ちにに取り組むべき課題の解決としての重症化予防事業の事業実施状況は、毎年取りまとめ、国保連に設置している保健事業支援・評価委員会の指導・助言を受けるものとする。

※評価における4つの指標

ストラクチャー (保健事業実施のための体制・システムを整えているか)	・ 事業の運営状況を定期的に管理できる体制を整備しているか。(予算等も含む) ・ 保健指導実施のための専門職の配置 ・ KDB 活用環境の確保
プロセス (保健事業の実施過程)	・ 保健指導等の手順・教材はそろっているか ・ 必要なデータは入手できているか ・ スケジュールどおり行われているか
アウトプット (保健事業の実施量)	・ 特定健診受診率、特定保健指導率 ・ 計画した保健事業を実施したか ・ 保健指導実施数、受診勧奨実施数など
アウトカム (成果)	・ 設定した目標に達することができたか (検査データの変化、医療費の変化、糖尿病等生活習慣病の有病者の変化、要介護率など)

第3章 中間評価の結果

1. 中期目標、短期目標（アウトカム、アウトプット）の進捗状況

【図表1】

関連計画	健康課題	達成すべき目的	課題を解決するための目標	初期値										現状値の把握方法
				2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	最終評価値		
特定健診等計画		医療費削減のために、特定健診受診率、特定保健指導の実施率の向上により、重症化予防対象者を減らす	特定健診受診率60%以上	42.8%	44.0%	45.0%	48.0%	51.0%	54.0%	57.0%	60.0%	60.0%	特定健診・特定保健指導結果(厚生労働省)	
			特定保健指導実施率60%以上	57.7%	58.0%	60.0%	62.0%	64.0%	66.0%	68.0%	70.0%	70.0%		
データヘルス計画		脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症による透析の医療費の伸びを抑制する	特定保健指導対象者の減少率25%	24.2%	25.0%	25.0%	25.0%	25.5%	25.5%	25.5%	25.5%	26.0%	KDBシステム	
			脳血管疾患の総医療費に占める割合1.2%減少	3.4%			3.0%							2.2%
			虚血性心疾患の総医療費に占める割合0.1%減少	1.1%			1.1%							1.0%
			糖尿病性腎症による透析導入者の割合の減少25%	67.0%			57.0%							42.0%
			メタボリックシンドローム・予備群の割合減少25%	29.8%	28.5%	27.5%	26.5%	25.5%	24.5%	23.5%	22.3%			
			健診受診者の高血圧者の割合減少31.1%(160/100以上)	4.5%	4.3%	4.1%	3.9%	3.7%	3.5%	3.3%	3.1%			
			健診受診者の脂質異常者の割合減少18.4%(LDL140以上)	3.8%	3.7%	3.6%	3.5%	3.4%	3.3%	3.2%	3.1%	小城市健康増進計画		
			健診受診者の糖尿病者の割合減少7.1%(HbA1c6.5以上)	9.8%	9.7%	9.6%	9.5%	9.4%	9.3%	9.2%	9.1%			
			糖尿病の未治療者を治療に結び付ける割合90%	70.0%	73.0%	76.0%	79.0%	82.0%	85.0%	88.0%	90.0%			
			糖尿病の保健指導を実施した割合60%以上	41.0%	43.0%	45.0%	47.0%	50.0%	53.0%	56.0%	60.0%			
短期		がんの早期発見、早期治療	がん検診受診率 胃がん検診 50%以上	13.9%	15.0%	16.0%	17.0%	18.0%	19.0%	20.0%	21.0%	地域保健事業報告		
			肺がん検診 50%以上	32.5%	33.5%	34.5%	35.5%	36.5%	37.5%	38.5%	39.5%			
			大腸がん検診 50%以上	26.6%	27.5%	28.5%	29.5%	30.5%	31.5%	32.5%	33.5%			
			子宮頸がん検診 50%以上	23.6%	25.0%	26.0%	27.0%	28.0%	29.0%	30.0%	31.0%			
			乳がん検診 50%以上	28.7%	29.5%	30.0%	31.0%	32.0%	33.0%	34.0%	35.0%			
保険者努力支援制度		自己の健康に関心を持つ住民が増える	健康ポイントの取り組みを行う実施者の割合11%以上	4.8%	5.0%	6.0%	7.0%	8.0%	9.0%	10.0%	11.0%	小城市健康増進課 厚生労働省公表結果		
			後発医薬品の使用割合80%以上の削減	68.1%	75.0%	75.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	80.0%			

「データヘルス計画目標管理一覧表」（図表1）を用いて、各指標を評価する。

1) 医療費の状況

小城市の総医療費は平成28年度と比較して1億5,990万円増加しており、一人当たりの医療費も4,276円増加している。一人当たりの医療費は佐賀県、同規模、国平均と比較しても高い。

入院の医療費は平成28年度と比較して1億235万円増加しており、目標としている国の伸び率と比較しても伸びが大きい。

中長期目標の疾患の割合に大きな伸びは見られないが、脳梗塞・脳出血は佐賀県、同規模、国平均と比較すると高い。短期目標の疾患のうち糖尿病の割合は年々増加している。

総医療費と一人当たりの医療費 【図表2】

項目		全体					
		費用額	増減	伸び率(%)			
				市	佐賀県	同規模	国
1総医療費(円)	H28年度	35億7015万	-	-	-	-	-
	R1年度	37億3005万	1億5990万	4.0	△1.6	2.3	△1.9
2一人当たり医療費(円)	H28年度	31,066	-	-	-	-	-
	R1年度	35,342	4,276	13.2	9.5	8.7	7.7

入院・入院外における総医療費と一人当たりの医療費 【図表3】

項目		入院						入院外					
		費用額	増減	伸び率(%)				費用額	増減	伸び率(%)			
				市	佐賀県	同規模	国			市	佐賀県	同規模	国
1総医療費(円)	H28年度	15億6243万	-	-	-	-	-	20億0771万	-	-	-	-	-
	R1年度	16億6478万	1億0235万	6.6	1.5	4.9	△0.1	20億6527万	△5,756万	2.0	△4.1	0.3	△3.1
2一人当たり医療費(円)	H28年度	13,600	-	-	-	-	-	17,470	-	-	-	-	-
	R1年度	15,770	2,170	16.0	12.9	11.5	9.6	19,570	+2,100	11.1	6.7	6.7	6.3

データヘルス計画のターゲットとなる疾患が医療費に占める割合(平成25年度・28年度・令和1年度との比較) 【図表4】

	総医療費(円)	一人あたり医療費				中長期目標疾患				短期目標疾患			(中長期・短期)目標疾患医療費計(円)		新生物	精神疾患	筋・骨格疾患	
		金額(円)	順位		腎		脳		心		糖尿病	高血圧	脂質異常症	1兆9,155億7,078万				20.07%
			同規模	県内	慢性腎不全(透析有)	慢性腎不全(透析無)	脳梗塞	脳出血	狭心症	心筋梗塞								
H25	36億1,813万	27,938	79位	12位	6.84%	0.23%	3.02%	1.64%	4.72%	5.43%	3.16%	8億9,289万	24.68%	10.73%	11.24%	9.69%		
H28	35億7,015万	31,066	55位	11位	5.93%	0.17%	3.42%	1.13%	5.20%	4.24%	3.00%	8億2,419万	23.09%	11.78%	11.50%	8.49%		
R1	37億3,005万	35,342	37位	6位	5.05%	0.16%	2.87%	0.87%	5.24%	3.08%	2.36%	7億3,226万	19.63%	14.35%	9.00%	9.51%		
R1	佐賀県	-	32,526	-	-	5.62%	0.28%	2.21%	1.14%	4.84%	3.38%	2.48%	147億967万	19.96%	13.67%	10.74%	9.11%	
	同規模	-	30,311	-	-	4.45%	0.31%	2.11%	1.69%	5.41%	3.52%	2.58%	1兆9,155億7,078万	20.07%	15.99%	7.98%	8.79%	
	国	-	26,225	-	-	4.45%	0.31%	2.11%	1.69%	5.41%	3.52%	2.58%	1兆9,155億7,078万	20.07%	15.99%	7.98%	8.79%	

最大医療資源傷病名(調剤含む)による分類結果

◆「最大医療資源傷病名」とは、レセプトに記載された傷病名のうち最も費用を要した傷病名

【出典】

KDBシステム: 健診・医療・介護データからみる地域の健康課題

2) 中長期目標

中長期目標疾患の中で医療費に占める割合が高い脳血管疾患患者は、虚血性心疾患と併せもつ割合が増加している。また、脳血管疾患患者のうち糖尿病がある割合は64歳以下、65歳以上ともに増加している。人工透析患者のうち脳血管疾患患者の割合は減少しているが、虚血性心疾患患者、糖尿病、脂質異常症のある人が増加している。

短期的な目標の疾患においてはどの中長期目標の疾患をみても糖尿病のある割合の増加率が高くなっている。

虚血性心疾患

【図表5】

厚生労働省 様式3-5		中長期的な目標								短期的な目標					
		虚血性心疾患		脳血管疾患		人工透析		高血圧		糖尿病		脂質異常症			
				人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
H28	全体	9,809	451	4.6%	107	23.7%	19	4.2%	366	81.2%	200	44.3%	305	67.6%	
	64歳以下	5,848	90	1.5%	20	22.2%	10	11.1%	73	81.1%	31	34.4%	60	66.7%	
	65歳以上	3,961	361	9.1%	87	24.1%	9	2.5%	293	81.2%	169	46.8%	245	67.9%	
R1	全体	8,928	365	4.1%	93	25.5%	20	5.5%	303	83.0%	171	46.8%	264	72.3%	
	64歳以下	4,963	75	1.5%	18	24.0%	11	14.7%	64	85.3%	29	38.7%	52	69.3%	
	65歳以上	3,965	290	7.3%	75	25.9%	9	3.1%	239	82.4%	142	49.0%	212	73.1%	

脳血管疾患

厚生労働省 様式3-6		中長期的な目標								短期的な目標					
		脳血管疾患		虚血性心疾患		人工透析		高血圧		糖尿病		脂質異常症			
				人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
H28	全体	9,809	479	4.9%	107	22.3%	16	3.3%	368	76.8%	185	38.6%	298	62.2%	
	64歳以下	5,848	119	2.0%	20	16.8%	9	7.6%	85	71.4%	39	32.8%	61	51.3%	
	65歳以上	3,961	360	9.1%	87	24.2%	7	1.9%	283	78.6%	146	40.6%	237	65.8%	
R1	全体	8,928	429	4.8%	93	21.7%	11	2.6%	325	75.8%	180	42.0%	263	61.3%	
	64歳以下	4,963	94	1.9%	18	19.1%	6	6.4%	65	69.1%	32	34.0%	53	56.4%	
	65歳以上	3,965	335	8.4%	75	22.4%	5	1.5%	260	77.6%	148	44.2%	210	62.7%	

人工透析

厚生労働省 様式3-7		中長期的な目標								短期的な目標					
		人工透析		脳血管疾患		虚血性心疾患		高血圧		糖尿病		脂質異常症			
				人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
H28	全体	9,809	41	0.4%	16	39.0%	19	46.3%	37	90.2%	23	56.1%	21	51.2%	
	64歳以下	5,848	23	0.4%	9	39.1%	10	43.5%	20	87.0%	11	47.8%	10	43.5%	
	65歳以上	3,961	18	0.5%	7	38.9%	9	50.0%	17	94.4%	12	66.7%	11	61.1%	
R1	全体	8,928	38	0.4%	11	28.9%	20	52.6%	30	78.9%	24	63.2%	23	60.5%	
	64歳以下	4,963	20	0.4%	6	30.0%	11	55.0%	17	85.0%	12	60.0%	12	60.0%	
	65歳以上	3,965	18	0.5%	5	27.8%	9	50.0%	13	72.2%	12	66.7%	11	61.1%	

3) 短期目標

健診結果のうちHbA1c値6.5以上の割合は6.4%増加している。メタボリックシンドローム該当者の割合は全体で3.4%増加しており、男性の合計は4.3%、65歳以上は5.0%増加している。また、メタボリック該当者のうち血糖・血圧・脂質の3項目該当者の割合が男性3.3%、女性2.2%増加している。

メタボリックシンドローム予備群の割合は、男性の64歳以下が3.2%増加となっている。

特定健診結果から把握した重症化予防対象

【図表6】

	高血圧	脂質異常症		メタボリックシンドローム	糖尿病			慢性腎臓病(CKD)		高尿酸血症
	Ⅱ度以上	LDLコレステロール	中性脂肪	該当者	HbA1c値(NGSP)			尿蛋白	eGFR	血清尿酸値
	160/100以上	180以上	300以上		6.5以上	再掲)7.0以上	再掲)8.0以上	(2+)以上	50未満 (70歳以上40未満)	8.0mg/dl以上
H28	4.5%	3.8%	2.0%	16.6%	6.5%			1.4%	2.6%	2.5%
R1	4.7%	3.1%	2.4%	20.0%	12.9%	6.3%	1.3%	1.7%	1.4%	1.6%
佐賀県	4.4%	3.4%	2.4%	20.1%	12.9%	6.3%	1.6%	1.3%	2.0%	2.6%

メタボリックシンドローム該当者・予備群の把握(厚生労働省様式6-8)

【図表7】

性別		健診受診者		腹囲のみ		予備群		高血糖		高血圧		脂質異常症		該当者		血糖+血圧		血糖+脂質		血圧+脂質		3項目全て	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
男性	合計	1,201	39.4	111	9.2%	224	18.7%	23	1.9%	145	12.1%	56	4.7%	311	25.9%	65	5.4%	21	1.7%	135	11.2%	90	7.5%
	40-64	387	28.4	46	11.9%	81	20.9%	8	2.1%	42	10.9%	31	8.0%	90	23.3%	14	3.6%	9	2.3%	44	11.4%	23	5.9%
	65-74	814	48.3	65	8.0%	143	17.6%	15	1.8%	103	12.7%	25	3.1%	221	27.1%	51	6.3%	12	1.5%	91	11.2%	67	8.2%
R1	合計	1,128	38.4	67	5.9%	220	19.5%	12	1.1%	157	13.9%	51	4.5%	341	30.2%	74	6.6%	27	2.4%	118	10.5%	122	10.8%
	40-64	324	27.5	32	9.9%	78	24.1%	5	1.5%	47	14.5%	26	8.0%	83	25.6%	16	4.9%	8	2.5%	34	10.5%	25	7.7%
	65-74	804	45.7	35	4.4%	142	17.7%	7	0.9%	110	13.7%	25	3.1%	258	32.1%	58	7.2%	19	2.4%	84	10.4%	97	12.1%
女性	合計	1,543	45.9	63	4.1%	128	8.3%	7	0.5%	83	5.4%	38	2.5%	155	10.0%	20	1.3%	13	0.8%	81	5.2%	41	2.6%
	40-64	501	36.3	30	6.0%	41	8.2%	3	0.6%	24	4.8%	14	2.8%	38	7.6%	6	1.2%	2	0.4%	23	4.6%	7	1.4%
	65-74	1,042	52.7	33	3.2%	87	8.3%	4	0.4%	59	5.7%	24	2.3%	117	11.2%	14	1.3%	11	1.1%	58	5.6%	34	3.3%
R1	合計	1,451	45.7	47	3.2%	108	7.4%	5	0.3%	76	5.2%	27	1.9%	183	12.6%	22	1.5%	12	0.8%	80	5.5%	69	4.8%
	40-64	397	34.0	17	4.3%	33	8.3%	2	0.5%	21	5.3%	10	2.5%	34	8.6%	3	0.8%	3	0.8%	14	3.5%	14	3.5%
	65-74	1,054	52.5	30	2.8%	75	7.1%	3	0.3%	55	5.2%	17	1.6%	149	14.1%	19	1.8%	9	0.9%	66	6.3%	55	5.2%

2. ストラクチャー、プロセス評価

【図表8】

<p>＜事業評価＞</p> <p>【目 標】 ※第2期特定健診実施計画及び第1期データヘルス計画 中長期目標：脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症による腎不全（透析）患者をそれぞれ5%を減らす。 短期目標：糖尿病、高血圧、脂質異常症、メタボリックシンドロームの有病者数を減らす。</p>	<p>課題</p> <p>【特定健診・特定保健指導】 H28年度以降、4.2%前後を推移しており、伸び悩んでいる。 特定健診未治療者の割合は治療中である。若年層の受診率が低い。 特定保健指導率 H28年度以降、対象者の割合に大きな差はないが、指導率は低下しており、県内で2番目に低い。</p>	<p>①ストラクチャー（構建）</p> <p>（健診体制）</p> <table border="1"> <tr><th>H30年度</th><th>R1年度</th></tr> <tr><td>集団健診 年39回</td><td>年37回</td></tr> <tr><td>毎日健診 5~7月</td><td>5~2月</td></tr> <tr><td>個別健診 9~1月</td><td>5~2月</td></tr> <tr><td>ヘルスサポート健診 9~1月</td><td>5~2月</td></tr> <tr><td>情報提供事業 10~1月</td><td>10~2月</td></tr> </table> <p>（特定保健指導）R1年度 結果数 6回 保健師 10人 管理栄養士 4人</p>	H30年度	R1年度	集団健診 年39回	年37回	毎日健診 5~7月	5~2月	個別健診 9~1月	5~2月	ヘルスサポート健診 9~1月	5~2月	情報提供事業 10~1月	10~2月	<p>②プロセス（やってきた実践の過程）</p> <p>（受診勧奨） 3月末 市内医療機関向けの次年度健診説明会を実施。 4月下旬 対象者へ受診券等通知発送。 5~7月 集団健診 10月 医療機関へ協力依頼訪問。 11月上旬 未受診者へ通知郵送（外部委託） 11月下旬 集団健診 12月1月上旬 未受診者へ通知郵送（外部委託） 1月下旬 未受診者へ通知郵送</p> <p>前年度受診し当年度未受診者及び台帳管理で未受診者に対し、訪問や電話による受診勧奨。 （特定保健指導） 健診会場毎に結果説明会を実施。説明会の予約がない方は、担当で別日や訪問等で対応。</p>	<p>③アウトカム（事業実施量）</p> <table border="1"> <tr><th>H30年度</th><th>R1年度</th></tr> <tr><td>集団健診 2,090人</td><td>2,021人</td></tr> <tr><td>毎日健診 35人</td><td>73人</td></tr> <tr><td>個別健診 286人</td><td>291人</td></tr> <tr><td>ヘルスサポート 165人</td><td>161人</td></tr> <tr><td>国民保険人向けヘルスサポート 140人</td><td>134人</td></tr> <tr><td>情報提供事業 72人</td><td>104人</td></tr> <tr><td>健診結果窓口提出 36人</td><td>21人</td></tr> <tr><td>計 2,784人</td><td>2,805人</td></tr> </table> <p>特定保健指導対象者 H30年度 209人 R1年度 243人 動機づけ支援 83人 84人 積極的支援</p>	H30年度	R1年度	集団健診 2,090人	2,021人	毎日健診 35人	73人	個別健診 286人	291人	ヘルスサポート 165人	161人	国民保険人向けヘルスサポート 140人	134人	情報提供事業 72人	104人	健診結果窓口提出 36人	21人	計 2,784人	2,805人	<p>④アウトカム（結果）</p> <table border="1"> <tr><th>H30年度</th><th>R1年度</th></tr> <tr><td>特定保健指導受診率 42.0%</td><td>42.9%</td></tr> <tr><td>40~64歳 29.6%</td><td>30.7%</td></tr> <tr><td>65~74歳 50.3%</td><td>49.3%</td></tr> <tr><td>特定保健指導 50.9%</td><td>45.6%</td></tr> <tr><td>動機づけ支援 60.1%</td><td>51.4%</td></tr> <tr><td>積極的支援 27.7%</td><td>28.6%</td></tr> </table> <p>特定保健指導未受診者のうち H30年度 66.2% R1年度 66.4% 生活習慣病治療中</p>	H30年度	R1年度	特定保健指導受診率 42.0%	42.9%	40~64歳 29.6%	30.7%	65~74歳 50.3%	49.3%	特定保健指導 50.9%	45.6%	動機づけ支援 60.1%	51.4%	積極的支援 27.7%	28.6%	<p>⑤残った課題（改善点）</p> <p>・R1年度受診率は前年度より0.9%上 がついているが、県内順位は低くなっており、伸び悩んでいる。 ・H28年度以降経年で未受診者のうち6割が治療中であり、若年層の受診率も低い。 ・医療機関を受診した際や個別受診へつながるような対策や個別健診の動機づけが必要である。 ・R1年度の特定保健指導対象者の割合が増加している。積極的支援の指導率が低く、動機づけ支援の指導率が前年度より低下している。特に積極的支援は初回面接では、きついが、継続的支援につながるケースが多い。 ・結果説明会に誘われなかった方への対応を、結果説明会での指導だけでなく、訪問や個別対応等メニューに応じて保健指導の方法を検討。 ・健診結果を前年度と比較するとほとんどの項目が増加しており、特にメタボが前年度より増加している割合が高く、HbA1c6.5以上の割合も増加している。 ・メタボ3項目該当者は特定保健指導対象となる人が多く、結果説明会を活用し介入していく必要がある。 ・H30年度HbA1c6.5以上者のうち、R1年度未受診者が26.5%と多い。 ・健診一列に回らず特定健診の継続受診者を増やしていく必要がある。特に未治療者に対しては、医療機関受診や年1回の健診受診につながる保健指導を検討していく必要がある。 ・重症化予防における医療機関との連携は、連絡窓口を中心に連携を図っているが、糖尿病連携チームの活用が少ない。 ・住民の自己管理意識や合併症予防のためにも糖尿病治療者は連携チームを活用し、医療機関との連携を図る。</p>
H30年度	R1年度																																																	
集団健診 年39回	年37回																																																	
毎日健診 5~7月	5~2月																																																	
個別健診 9~1月	5~2月																																																	
ヘルスサポート健診 9~1月	5~2月																																																	
情報提供事業 10~1月	10~2月																																																	
H30年度	R1年度																																																	
集団健診 2,090人	2,021人																																																	
毎日健診 35人	73人																																																	
個別健診 286人	291人																																																	
ヘルスサポート 165人	161人																																																	
国民保険人向けヘルスサポート 140人	134人																																																	
情報提供事業 72人	104人																																																	
健診結果窓口提出 36人	21人																																																	
計 2,784人	2,805人																																																	
H30年度	R1年度																																																	
特定保健指導受診率 42.0%	42.9%																																																	
40~64歳 29.6%	30.7%																																																	
65~74歳 50.3%	49.3%																																																	
特定保健指導 50.9%	45.6%																																																	
動機づけ支援 60.1%	51.4%																																																	
積極的支援 27.7%	28.6%																																																	
<p>【特定健診結果】 県内順位をみても上位が多い。</p> <table border="1"> <tr><th>健診項目</th><th>H29年度</th><th>県内順位</th></tr> <tr><td>高血圧Ⅱ度以上</td><td>5.2%</td><td>4位</td></tr> <tr><td>HbA1c6.5以上</td><td>12.8%</td><td>9位</td></tr> <tr><td>脂蛋白2+以上</td><td>6.5%</td><td>5位</td></tr> <tr><td>eGFR50未満</td><td>1.5%</td><td>6位</td></tr> <tr><td>メタボ3項目該当者</td><td>2.4%</td><td>5位</td></tr> <tr><td></td><td>6.2%</td><td>3位</td></tr> </table>	健診項目	H29年度	県内順位	高血圧Ⅱ度以上	5.2%	4位	HbA1c6.5以上	12.8%	9位	脂蛋白2+以上	6.5%	5位	eGFR50未満	1.5%	6位	メタボ3項目該当者	2.4%	5位		6.2%	3位	<p>【特定健診結果】 H30年度 HbA1c6.5以上者の割合変化 改善 20.6% 悪化なし 11.8% 悪化 5.7% 未受診 1.1%</p> <p>R1年度 75g 糖負荷 糖尿病型 境界型 正常型 6人 9.7% 42人 67.7% 14人 22.6%</p> <p>R1年度頭脳エコー検査 プラークあり プラークなし 60人 54.1% 51人 45.9%</p> <p>R1年度アルブミン尿 正常 顕性 アルブミン尿 アルブミン尿 アルブミン尿 43人 93.5% 3人 6.5% 0人 0.0%</p> <p>小城市国保 H30年度 R1年度 新規透析患者数 5人 7人 糖尿病病性 3人 5人</p>	<p>特定健診結果 H30年度 HbA1c6.5以上者の割合変化 改善 20.6% 悪化なし 11.8% 悪化 5.7% 未受診 1.1%</p> <p>R1年度 75g 糖負荷 糖尿病型 境界型 正常型 6人 9.7% 42人 67.7% 14人 22.6%</p> <p>R1年度頭脳エコー検査 プラークあり プラークなし 60人 54.1% 51人 45.9%</p> <p>R1年度アルブミン尿 正常 顕性 アルブミン尿 アルブミン尿 アルブミン尿 43人 93.5% 3人 6.5% 0人 0.0%</p> <p>小城市国保 H30年度 R1年度 新規透析患者数 5人 7人 糖尿病病性 3人 5人</p>	<p>腎臓病 H30年度 31人 R1年度 36人 参加者 59.6% 50.0% 参加率</p> <p>糖尿病域未治療者受診勧奨 H30年度 12人 R1年度 11人 実施者 35.3% 73.3% 実施率</p> <p>糖コントロール不良者保健指導 H30年度 25人 R1年度 58人 実施者 36.8% 35.2% 実施率</p> <p>二次検査実施者 H30年度 50人 R1年度 62人 75g糖負荷 112人 111人 頭脳エコー 36人 46人 アルブミン尿</p>	<p>小坂多久地区糖尿病対策連絡会 H30年度 32人 R1年度 34人 連絡会参加人数</p> <p>連絡会発行数 H30年度 52人 R1年度 59人 連絡会発行数</p> <p>医療機関からの返信数 H30年度 42人 R1年度 44人 返信数</p> <p>糖尿病連携チーム新規発行数 H30年度 4人 R1年度 1人 発行数</p>	<p>小坂多久地区糖尿病対策連絡会を年2回（6月2月）実施。 R1年度 特定健診受診率、重症化予防取り組み報告 6月 保健師が改善したケースのグループワーク 2月 糖尿病重症化予防の取り組みについて 糖尿病の治療中断をするケースのグループワーク 糖尿病性腎症重症化予防プログラムに基づき、医療機関に 連携を発生し、重症化予防のための保健指導を実施。</p>	<p>【医療費】 一人当たりの医療費が同県市町村、県、国と比較しても高い。 ・中長期目標である脳梗塞・脳出血の医療費が増加しており、県と比較しても高い。 ・慢性腎不全（透析有）の医療費は下がっているが、新規透析患者数は変わらない。 ・短期目標においては糖尿病が占める割合が増加している。</p>																							
健診項目	H29年度	県内順位																																																
高血圧Ⅱ度以上	5.2%	4位																																																
HbA1c6.5以上	12.8%	9位																																																
脂蛋白2+以上	6.5%	5位																																																
eGFR50未満	1.5%	6位																																																
メタボ3項目該当者	2.4%	5位																																																
	6.2%	3位																																																

3. 主な個別事業の評価と課題

1) 未受診者対策

H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
	広報(広報誌やぶんぶんTV等)による受診勧奨				
未受診者の状況に応じ、パターン分けした未受診者通知勧奨					
定期通院者を対象とした情報提供事業					
	雇用保健師による未受診者へ訪問受診勧奨				
	地区担当による受診勧奨				

平成 30 年度から未受診者対策事業として未受診者の過去の受診歴等に応じパターン分けした通知内容にて未受診者勧奨を開始した。受診率を経年でみても通知による受診勧奨だけでは不十分であることを改めて実感し、令和元年度からは訪問による受診勧奨と広報を活用した受診勧奨に取り組んだ。

第 4 章 特定健診・特定保健指導の中間評価と課題

1. 目標値に対する進捗状況

特定健診実績と計画当初目標値

【図表9】

		H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 目標	R3年度 目標	R4年度 目標	R5年度 目標
特定健診実施率(%)		42.8	43.3	42.0	42.9	51	54	57	60
特定健診	対象者数(人)	6,401	6,281	6,106	6,096				
	受診者数(人)	2,742	2,719	2,566	2,612				
特定保健指導実施率(%)		57.7	50.6	50.9	45.6	64	66	68	70
特定保健指導	対象者数(人)	326	314	291	327				
	実施者数(人)	188	159	148	149				

特定健診受診率を国が目標としている 60%、特定保健指導実施率 70%を最終目標としていたが、経年的に実績をみると、令和元年度の中間評価において目標との差が大きい。

第5章 中間評価、新たな課題を踏まえた目標値の見直し

「特定健診・特定保健指導の実施」、「短期目標に対する健診結果の実績」及び、「中長期目標に対する達成状況」のいずれの項目についても、目標を達成できていない状況である。この結果から今後の計画においては、特定健診を通し、被保険者状態を把握することを優先し、最終的な目標である重症化予防、医療費の適正化に向け、「特定健診受診率の向上」に注力していくこととする。

また、特定健診実施率の目標設定についても、現状を踏まえた目標値に見直す。

特定健診実績と計画当初目標値

【図表10】

	H28年度 実績	H29年度 実績	H30年度 実績	R1年度 実績	R2年度 目標	R3年度 目標	R4年度 目標	R5年度 目標
特定健診実施率(%)	42.8	43.3	42.0	42.9	51	54	57	60
特定保健指導実施率(%)	57.7	50.6	50.9	45.6	64	66	68	70



見直し後目標値

	R2年度 目標	R3年度 目標	R4年度 目標	R5年度 目標
特定健診実施率(%)	46	49	52	55
特定保健指導実施率(%)	55	60	65	70

見直し後の目標を【図表11】とする。

【図表11】

関連計画	健康課題	達成すべき目的	課題を解決するための目標	実績					目標値					現状値の把握方法
				初期値	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	最終評価		
				H28	43.3%	42.0%	42.9%	46.0%	49.0%	52.0%	55.0%			
特定 等 計 画 診	医療費削減のために、特定健診受診率、特定保健指導の実施率の向上により、重症化予防対象者を減らす	特定健診受診率60%以上 特定保健指導実施率60%以上 特定保健指導対象者の減少率25%	特定健診受診率60%以上 特定保健指導実施率60%以上 特定保健指導対象者の減少率25%	H28	42.8%	43.3%	42.0%	42.9%	46.0%	49.0%	52.0%	55.0%	特定健診・特定保健指導結果(厚生労働省)	
				H29	57.7%	50.6%	50.9%	45.6%	64.0%	66.0%	70.0%			
中 長 期	脳血管疾患の医療費の割合が3.4%と県、国と比較し高い。 男女ともメタボ、高血糖者の割合が県内、同規模と比較して高い。 糖尿病性腎症を原因とする透析者の67%を占めている。	脳血管疾患、虚血性心疾患、糖尿病性腎症による透析の医療費の伸びを抑制する	脳血管疾患の総医療費に占める割合1.2%減少 虚血性心疾患の総医療費に占める割合0.1%減少 糖尿病性腎症による透析導入者の割合の減少25%	H28	3.4%	5.5%	3.8%	5.5%				2.2%	KDBシステム	
				H29	1.1%	1.7%	0.8%	1.7%				1.0%		
データヘルス計画	メタボリックシンドローム・予備群の割合減少25%	メタボリックシンドローム・予備群の割合減少25%	メタボリックシンドローム・予備群の割合減少25%	H28	67.0%	40.0%	60.0%	71.4%				42.0%	小城市 健康増進計画	
				H29	29.8%	30.7%	32.6%	33.0%	25.5%	24.5%	23.5%	22.3%		
短期	がんの早期発見、早期治療	がんの早期発見、早期治療	がん検診受診率 胃がん検診 50%以上 肺がん検診 50%以上 大腸がん検診 50%以上 子宮頸がん検診 50%以上 乳がん検診 50%	H28	4.5%	5.2%	4.6%	4.7%	3.7%	3.5%	3.3%	3.1%	地域保健事業 報告	
				H29	3.8%	3.8%	2.4%	3.1%	3.4%	3.3%	3.2%	3.1%		
保険者努力支援制度	がん検診受診率 胃がん検診 50%以上 肺がん検診 50%以上 大腸がん検診 50%以上 子宮頸がん検診 50%以上 乳がん検診 50%	がん検診受診率 胃がん検診 50%以上 肺がん検診 50%以上 大腸がん検診 50%以上 子宮頸がん検診 50%以上 乳がん検診 50%	がん検診受診率 胃がん検診 50%以上 肺がん検診 50%以上 大腸がん検診 50%以上 子宮頸がん検診 50%以上 乳がん検診 50%	H28	9.8%	12.8%	11.8%	12.9%	9.4%	9.3%	9.2%	9.1%	小城市 健康増進計画	
				H29	70.0%			35.7%	82.0%	85.0%	88.0%	90.0%		
短期	がん検診受診率 胃がん検診 50%以上 肺がん検診 50%以上 大腸がん検診 50%以上 子宮頸がん検診 50%以上 乳がん検診 50%	がん検診受診率 胃がん検診 50%以上 肺がん検診 50%以上 大腸がん検診 50%以上 子宮頸がん検診 50%以上 乳がん検診 50%	がん検診受診率 胃がん検診 50%以上 肺がん検診 50%以上 大腸がん検診 50%以上 子宮頸がん検診 50%以上 乳がん検診 50%	H28	41.0%	40.0%	37.3%	47.9%	50.0%	53.0%	56.0%	60.0%	地域保健事業 報告	
				H29	13.9%	12.4%	11.8%	15.7%	18.0%	19.0%	20.0%	21.0%		
短期	がん検診受診率 胃がん検診 50%以上 肺がん検診 50%以上 大腸がん検診 50%以上 子宮頸がん検診 50%以上 乳がん検診 50%	がん検診受診率 胃がん検診 50%以上 肺がん検診 50%以上 大腸がん検診 50%以上 子宮頸がん検診 50%以上 乳がん検診 50%	がん検診受診率 胃がん検診 50%以上 肺がん検診 50%以上 大腸がん検診 50%以上 子宮頸がん検診 50%以上 乳がん検診 50%	H28	32.5%	12.9%	11.5%	23.6%	36.5%	37.5%	38.5%	39.5%	地域保健事業 報告	
				H29	26.6%	11.5%	10.3%	17.8%	30.5%	31.5%	32.5%	33.5%		
短期	がん検診受診率 胃がん検診 50%以上 肺がん検診 50%以上 大腸がん検診 50%以上 子宮頸がん検診 50%以上 乳がん検診 50%	がん検診受診率 胃がん検診 50%以上 肺がん検診 50%以上 大腸がん検診 50%以上 子宮頸がん検診 50%以上 乳がん検診 50%	がん検診受診率 胃がん検診 50%以上 肺がん検診 50%以上 大腸がん検診 50%以上 子宮頸がん検診 50%以上 乳がん検診 50%	H28	23.6%	24.6%	25.6%	28.9%	28.0%	29.0%	30.0%	31.0%	地域保健事業 報告	
				H29	28.7%	26.5%	23.6%	27.6%	32.0%	33.0%	34.0%	35.0%		
短期	がん検診受診率 胃がん検診 50%以上 肺がん検診 50%以上 大腸がん検診 50%以上 子宮頸がん検診 50%以上 乳がん検診 50%	がん検診受診率 胃がん検診 50%以上 肺がん検診 50%以上 大腸がん検診 50%以上 子宮頸がん検診 50%以上 乳がん検診 50%	がん検診受診率 胃がん検診 50%以上 肺がん検診 50%以上 大腸がん検診 50%以上 子宮頸がん検診 50%以上 乳がん検診 50%	H28	4.8%				8.0%	9.0%	10.0%	11.0%	小城市 健康増進課	
				H29	68.1%				80.0%	80.0%	80.0%	80.0%		
短期	がん検診受診率 胃がん検診 50%以上 肺がん検診 50%以上 大腸がん検診 50%以上 子宮頸がん検診 50%以上 乳がん検診 50%	がん検診受診率 胃がん検診 50%以上 肺がん検診 50%以上 大腸がん検診 50%以上 子宮頸がん検診 50%以上 乳がん検診 50%	がん検診受診率 胃がん検診 50%以上 肺がん検診 50%以上 大腸がん検診 50%以上 子宮頸がん検診 50%以上 乳がん検診 50%	H28	68.1%				80.0%	80.0%	80.0%	80.0%	厚生労働省公表結果	
				H29					80.0%	80.0%	80.0%	80.0%		